

平成 31 年 4 月 26 日

各基本領域学会 理事長 殿

一般社団法人日本専門医機構
理事長 寺本民生

2020 年度専攻医の募集におけるシーリングについて（第 2 報）

常日頃より、新専門医制度の運営にご支援・ご協力いただき誠にありがとうございます。また、先日来、2020 年度の専攻医募集につきましては、シーリングに関する基本領域委員会に御参集いただき、機構案に対してご検討、ご意見頂きましたことに感謝申し上げます。

当該委員会におきましては、地方における専攻医の指導体制、リハビリテーション領域の主治医について、また精神保健指定医による精神科救急の提供体制など、さまざまな非常に重要な課題についてご指摘いただきました。

ただし、日本専門医機構としましては、質の高い専門研修を提供することを念頭に各領域学会にはご協力頂いたところではございますが、合わせて地域医療にも貢献しうる専門研修を構築していきたいと思っております。また、昨今の医師の働き方改革に全国的に対応していくためには、今回厚生労働省が発出した都道府県別診療科必要医師数・養成数に基づいたシーリングを実施していく必要があると考えております。

なお、上記の各基本領域からの指摘につきましては、今後 1 年かけて厚生労働省と協力して、各領域の先生方と協議を重ねて、各診療科の実情を考慮したシーリング等を検討していきますので、ご協力よろしく申し上げます。

今年に関しては、各学会の意見を勘案し鋭意検討の上、新しい機構案を別添 1 のようにお示いたします。各基本領域学会にはそれぞれの事情があることは承知しておりますが、5 月 14 日の厚生労働省医師分科会専門研修部会に向けて、新しい機構案にご賛同頂きたいと思っております。改めまして 5 月 10 日までに当機構事務局シーリング担当メールアドレス (toiawase@jmsb.jp) へ回答をいただけますようお願い申し上げます。

(別添)

1. 連携プログラム数の計算

(過去2年の採用数平均)－(2024年の必要医師数を達成するための年間養成数) の

	従来の連携 プログラム数	新しい連携 プログラム数
内科・整形外科・泌尿器科・脳神経外科	15%	15%+5%
小児科・眼科・耳鼻科・放射線科・リハビリテーション科	10%	10%+5%
皮膚科・精神科・麻酔科・形成外科	5%	5%+5%

とする。

新しい連携プログラム数の追加5%の定員については、

$$\text{(2016年足下充足率)} = \frac{\text{(2016年の医師数)}}{\text{(2016年の必要医師数)}} \leq 0.8$$

である都道府県と地域連携プログラムを組むこととする

2. シーリング数(連携プログラム含む)の上限について

- シーリング数(連携プログラム含む) > 20 の場合 2019年の採用数
- シーリング数(連携プログラム含む) ≤ 20 の場合 過去2年の平均採用数と2019年の採用数のいずれか大きい方